

42  
E  
1

昭和三十八年度  
竹島関係綴  
赤い印  
赤い線

竹島関係綴

広報文書課

昭和28年

大分類	42
小分類	E
簿番	1
冊数	1

第1種格納番号  
5340  
冊の内

繼續御許可相受ケ置度今回出願ニ及ヒタル次第ニ御座候條向卒上記必要ノ事情御覽察  
ノ上速カニ御許可相成候様此致陳情仕候也

明治四十三年六月式於五日

(住所見)

中井善三郎  
橋岡友次郎  
加藤 重造

島根県知事 丸山重俊殿

官有地借用願

隠岐国竹島

一 島崎反別式於参町参反参畝市

自明治四十四年七月 五箇年期  
至明治四十九年六月

右地所海野蕃殖保護方法ヲ設ケ且ツ地形変更予防ノ爲メ樹木種子播蒔致シ成木ノ上  
八官有ニ納付致スヘキ目的及条件ヲ以テ 自明治三十九年七月 五箇年期借用罷在候外滿期  
後尚ホ引續キ同一条件ヲ以テ同一目的兼ニ漁業上必要ノ施設ヲ爲ス爲メ前掲地所借用  
仕度候御懇願被下度料金ノ儀ハ御指示ニ從ヒ成規ノ通上納ハ勿論明治四十四年島根  
県令第五十七号ニ趣遵守可仕候依テ別紙圖面及ヒ方法書相添保証人連署ヲ以テ此致奉

願候也

明治四十四年六月式於五日

島根県 同吉郡 西御町 太田西町

借用主 竹島環嶺合資会社

右代表社員 中井善三郎

同県同郡 同町 大字 同町

保証人 加藤 重造

島根県知事 丸山重俊殿

竹島土地使用方法書

一 海野蕃殖ノ爲メ保護場ヲ設置スルコト

一 土地崩壊等ニ由テ生スル地形変更予防ノ爲メ樹木ノ種子ヲ播蒔シ又ハ苗木ヲ移植ス  
ルコト 但シ成木ノ上官有ニ歸スヘキハ無論ナリ

一 蔬菜類ヲ栽培シ以テ海野漁業従業者ノ食料ニ供センガ爲メ適當ノ土地ヲ耕作スルコト

一 海野漁業従業者ノ飲料水ニ供センガ爲メ天水及ヒ岩崖消滴ノ淡水貯溜ノ装置ヲ爲ス  
コト

一 海野漁業従業者ノ居住及捕獲物製造ノ爲メ漁舎製造場等ヲ設ケ及ヒ往來拂下ヲ受ケ  
タル海軍仮設望樓建築ヲ保存スルコト

右之通りニ候也

明治四十一年六月廿五日

☆ 上伸書

私儀年来外三名ト共同レ御許可ヲ受ケ竹島海野漁業ニ從事罷在矣。今因農商務省水産局ノ計畫ニ属スル竹島列島ノ経営ニ從事致度美ニヨリ竹島ノ海野漁業ハ自然粗漏ニ流ル、恐レ有之今因竹島海野漁業御許可経経ノ儀共同出願之際レ私儀持分長男卷一ニ継承レテ専心從事致度別紙ノ通り出願ニ及ヒ爰奈何卒御許可被成降度此程上伸書也

大正四年四月三十日

島根県周吉郡西郷町大字西町字指向三番地

島根県知事 折原 己一郎殿

中井 卷三郎

☆ 海野漁業許可願

一 漁業ノ名称

一 漁場

一 漁具ノ構造及ヒ其使用方法

一 漁獲物ノ種類

一 漁業時期

海野漁業  
竹島ノ周囲

經一分五厘ノ麻糸ヲ以テ編立タル七十目ノ網地ヲ普通ノ刺網ニ仕立テ之ヲ海野群集ノ場所ニ張り網目ヲ刺テシメテ捕獲ス  
海野

自五月至八月

一 許可期間

自大正五年六月 五箇年間  
至大正十年五月

前記ノ通り海野漁業許可相受度別紙陳情書相添此程奉願候也

大正四年四月三十日

島根県周吉郡西郷町大字西町字指向三番地

出願者

中井 卷三郎

右未成年者ニ付  
親和ヲ行フ父

中井 卷三郎

全具秘地郡五箇村大字久見六百五十番地

橋岡友三郎死七  
跡相続人

出願者 橋岡 忠重

右未成年ニ付  
親和ヲ行フ母

橋岡 ヨシ

全具周吉郡西郷町大字西町字八尾ノ二七番地

全 加藤 重造

右代表者

中井 卷一

右親和者

中井 卷三郎

島根県知事 折原 己一郎殿

☆ 陳情書

私共儀去ル明治三十八年竹島領土御編入以來該島ニ於テ共同ニ御許可ヲ受ケ漁舍構